



すくすく育て 向山の子

副校長 高松由貴

早いもので2月に入ります。まもなく新1年生の入学準備や、6年生の卒業を祝う行事の準備も始まります。学校全体で、子供たちの進級や進学に対する意識が高まってくる時期です。

4月に本校に着任した私も、まもなく1年というサイクルを経験します。この1年間、多くの方と関わり、様々な取組の様子を間近で拝見し、時には共に活動してまいりました。そこで肌身で感じたことは、いかに多くの方が向山小の子供たちのことを思い、活動してくださっているかということです。子供たちが安全に過ごすために力を注いでくださっている方々があります。子供たちが楽しめることを企画してくださっている方々があります。子供たちが教育活動以外の時間でものびのびと遊べるように力を貸してくださっている方々があります。2月2日(土)に予定されている「葉かげの集い」も、学校を支えている多くの方々の準備やご協力の下で、行われるものです。

そのような活動の打ち合わせや準備は、夜の時間帯や休日となることがほとんどですが、誰もが真剣に課題に向き合い、熱い議論が交わされます。時には、今すぐには結論を出せないものや、誰も経験したことがないような未知のことについて、考えを巡らせることもありました。しかし、このまま曖昧にしてはいけないと、今の段階でできることについてはすぐに改善し、できないことについては今後の見通しをもち、計画的に着手しているところです。

皆さんからお寄せいただいた「学校評価」や「保護者アンケート」の中からも、学校の課題として見えてくるものがありました。その中で、早急に改善をしたいと考えるものの一つに、学校の安全管理があります。施設の構造上の問題や予算の問題もありますが、向山小ならではの工夫をしていかなければなりません。そのためには、今までと同じにはできなくなることや、不便を感じるが出てくるかもしれませんが、子供たちの安全を第一に考え、皆で共通理解しながら、改善に向けての努力をしたいと思います。

今年度は、スポーツテストや防災訓練、地区祭、葉かげの集い等で、保護者ボランティアを募りました。明日の餅つきも、力仕事や人手の必要な場面が多くあります。是非、お子さんと一緒に来校し、向山小に携わる一員としてお力をお貸しください。

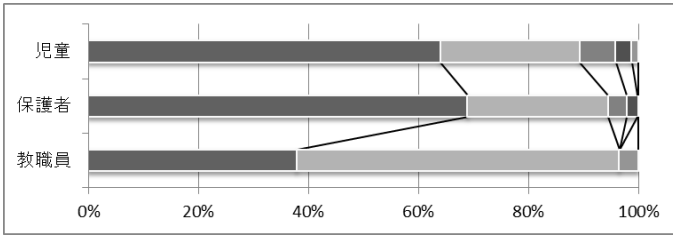
平成 30 年度 練馬区立向山小学校 学校評価アンケート結果のお知らせ

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。今年度の調査は、平成 30 年 11 月 16 日から 22 日の間に行い、95.6%のご家庭から回答をいただきました。集計がまとまりましたので、お知らせいたします。この結果を教育活動改善のための貴重な資料とさせていただきます。なお、記述いただいたご意見につきましては、3月号で紹介する予定です。

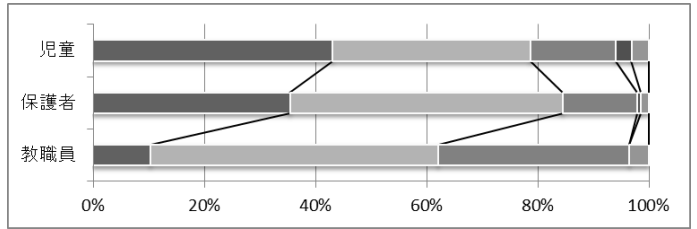
設問の上段：保護者、教職員向け
下段：児童向け

■とてもおもう ■すこしおもう ■あまりおもわない ■おもわない ■わからない

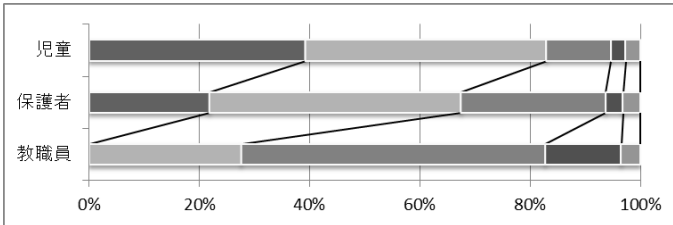
Q1. 子供は、楽しく学校に通っている。(保護者・教員向け)
がっこうでのせいかつは、たのしいですか。(児童向け)



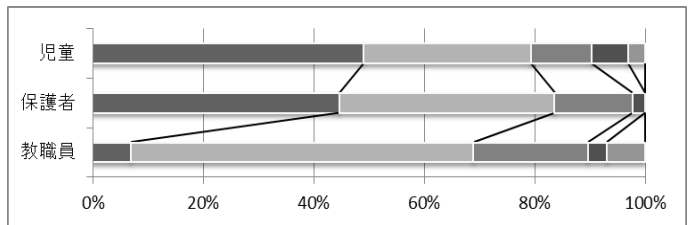
Q6. 子供は、表現力やコミュニケーションの力が身に付いてきている。
じぶんのおもいやかんがえを、せんせいやともだちに こばでつたえていますか。



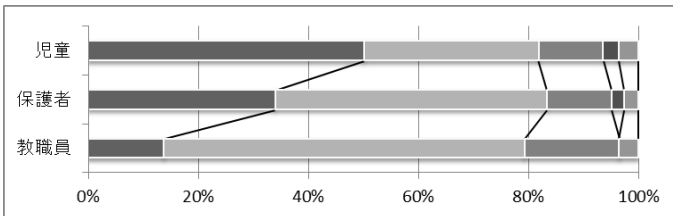
Q2. 子供は、学校や地域で進んであいさつをしている。
がっこうやちいきで すすんであいさつをしていますか。



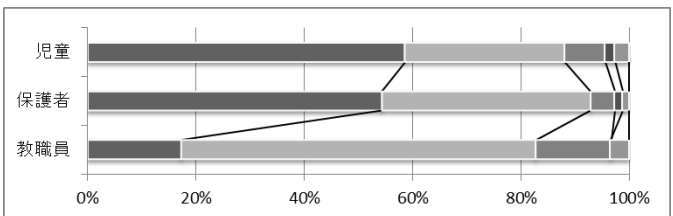
Q7. 子供は、「早寝・早起き・朝ご飯」等、基本的な生活習慣が定着している。
「はやね、はやおき、あさごはん」ができていますか。



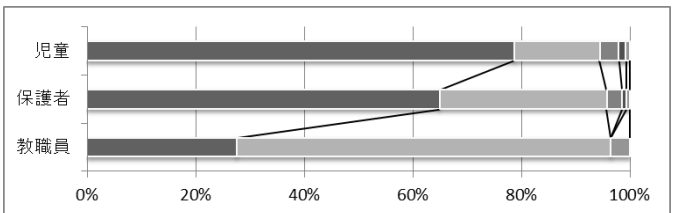
Q3. 子供は、学習に集中し落ち着いて授業に取り組んでいる。
じゅぎょうにしゅうちゅうして おちついてとりくんでいますか。



Q4. 子供は、学校生活のきまりを守り生活している。
がっこうのきまりをまもって せいかつしていますか。



Q5. 子供は、友達と仲良く生活している。
ともだちと なかよくせいかつしていますか。



<設問1~7の結果から>

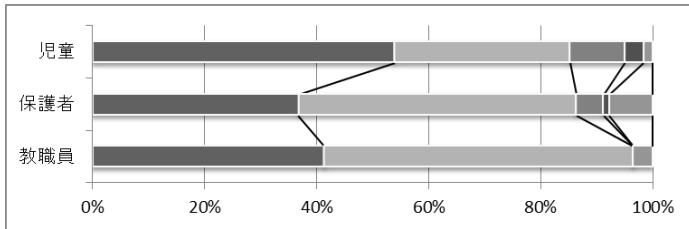
Q1 では9割近くの児童が、「学校が楽しい」と答えています。「楽しいと思わない」という児童は、H28年度は4.1%、H29年度は3.1%、H30年度は2.8%でした。年々減少しています。今後も、児童にとって一層楽しい学校となるよう努めていきます。

3者ともに評価が低いのはQ2の挨拶です。3者の中でも児童と保護者は半数以上が「できている」と捉えています。教職員は7割以上が「できていない」と捉えています。これは、「すすんで」できているかどうかというところのとらえ方の違いと考えます。

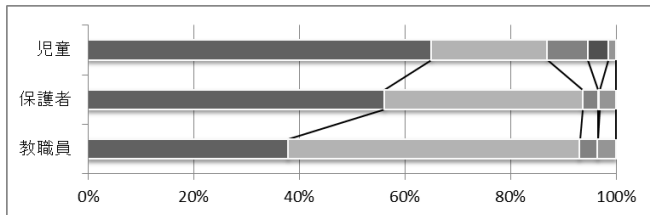
Q7の「早寝・早起き・朝ご飯」等の定着については、8割ができているという高い結果が出ています。学習をはじめとする学校生活の基盤となるものです。引き続きよろしくお願いたします。

全体的に教職員は「とても思う」が少なく、子供に対する見方が厳しいように見えますが、これは子供を今よりも一層成長させたいという思いの表れと考えます。また「とても思う」に「少し思う」を加えると、高い割合で肯定的に捉えていることが分かります。

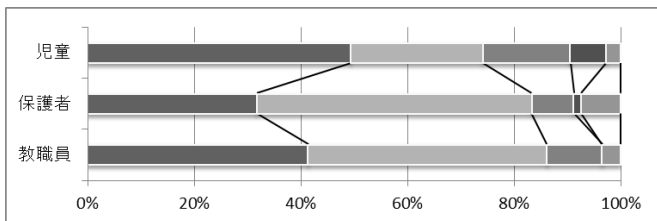
Q8. 学校は、子供に分かりやすいよう、授業を工夫している。
じゅぎょうは、よくわかり たのしいですか。



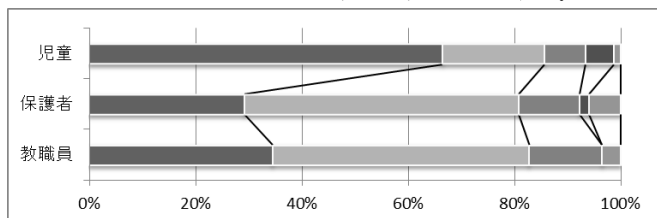
Q9. 学校は、縦割り班活動（ハッピータイム、ふれあいオリエンテーリングなど）を通して、異年齢集団の活動が充実している。
たてわりはんかつどうは、たのしいですか。



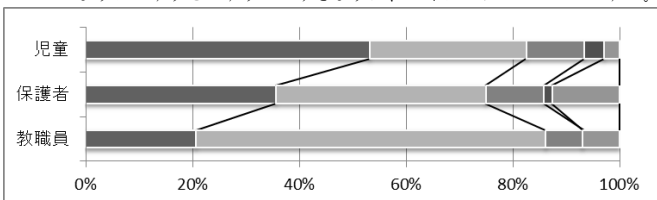
Q10. 学校は、道徳授業や読書活動等を中心に心豊かな教育を推進している。
すすんで どころよを していますか。



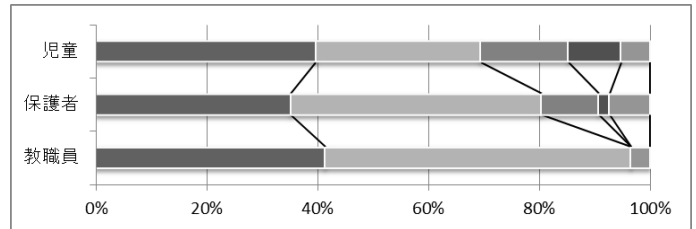
Q11. 学校は、体力向上の充実に努めている。
そとあそびなどで たくさんうんどうしていますか。



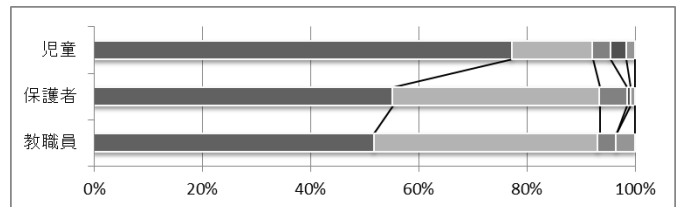
Q12. 学校は、算数の少人数指導を効果的に実施している。
しょうにんずうさんすうのじゅぎょうは、よくわかり たのしいですか。



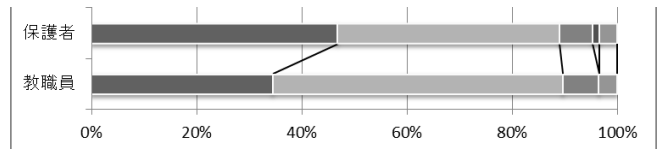
Q13. 学校は、子供や保護者の相談に適切に対応している。
こまったことは、せんせいにそうだんできますか。



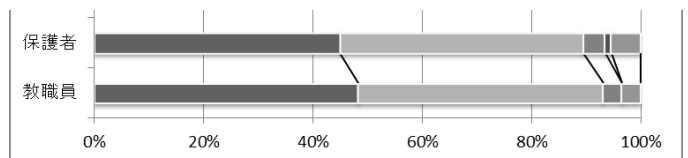
Q14. 学校は、運動会、遠足・移動教室、展覧会等の学校行事の充実を図っている。
がっこうぎょうじは、どれもたのしいですか。



Q15. 学校は、開かれた学校づくり（学校公開・お便り・ホームページ等）を推進している。



Q16. 学校は、学習環境を整え子供の安全確保に努めている。



＜設問 8～16 の結果から＞

向山小の特色の一つであるたてわり班活動が楽しいかどうかを尋ねる Q9 では、6 割を超える児童が「とても思う」と答えています。これは、昨年度と比べても 13.3 ポイント上昇しています。ただし 1 割強の児童が楽しめていないという結果も受け止め、さらに改善を進めていきます。

教職員の評価に比べて、児童・保護者の方の評価が比較的低い、Q10 心豊かな教育、Q13 相談対応、Q15 開かれた学校づくり、Q16 安全確保等につきましては、昨年度からの課題です。引き続き改善に努めていきます。

学校では、この結果を踏まえて、教育活動の改善策を検討しています。担当部会や職員会議で検討を重ね、学校評議員会の場でもご意見をいただき、来年度の教育計画を作成します。来月号では、保護者の方からいただいたご意見と、改善策についてお知らせする予定です。

2月の目標

生活目標「寒さに負けず元気に遊びましょ
う。」

あいさつ目標「できるかな?その場に合ったことば
づかい。」

保健目標「体をたくさんうごかそう。」

2月行事予定

- 2日(土) 葉かげの集い(餅つき)
- 4日(月) 委員会活動
- 5日(火) 安全指導日
幼保小交流(向山幼稚園)
- 7日(木) 昔遊びの会1年
- 8日(金) 東芝環境教育プログラム6年
- 9日(土) 土曜授業日 第3回学校評議員会
租税教室6年 米食べ比べ5年
10年分の感謝と成長の会4年
- 11日(月) 建国記念の日
- 12日(火) クラブ活動(3年見学)
- 13日(水) 教育会研究発表会(午前授業)
- 14日(木) 幼保小交流(向山保育園)
新1年生保護者会
- 15日(金) ハッピータイム
- 16日(土) サタデースクール
- 18日(月) クラブ活動(クラブ発表)
- 19日(火) 社会科見学3年
- 21日(木) 避難訓練
スポーツマジックキャラバン1・2・4年
- 23日(土) サタデースクール
- 25日(月) クラブ活動
- 26日(火) 保護者会1・2年
- 27日(水) 6年生を送る会 保護者会5・6年
- 28日(木) 保護者会3・4年

《3月の行事予定》

- 1日(金) 旅立ちの会6年

特別時程

(年度当初予定から変更になりました。)

◇◇◇校内研究◇◇◇

今年度の研究テーマは昨年度に引き続き、『**かわりを大切に し 心豊かに生きる児童の育成**
～「考える道徳」「議論する道徳」を通して
～』です。年間計7回の研究授業を行いました。

「議論する」という言葉を聞いて、みなさんはど
のようなことを思い浮かべますか。一つの問題につ
いてみんなで話し合い、一つの答えに絞っていく、
そんなイメージはないでしょうか。心の問題に一つ
の結論は出せるのか?実際、わたしたち教員も、初
めはそのように思い、「考える道徳」「議論する道
徳」への転換に戸惑いを感じました。しかし、2年
間研究を進めていく中で、「議論する」とは、ある
問題について互いの考えを述べ合うこと、多様な考
え方や感じ方に出会って自分の考え方、感じ方を深
めることであると捉えるようになり、道徳授業での
実践に結びました。

今後も研究で得たことを子供たちに還元できるよ
う努めていきます。

研究主任 熊井 留美

学年の窓～4年生～

4年生は今、2月9日(土)に行う「10年分の
感謝と成長の会」に向けて、準備と練習をしていま
す。

取り組みに先駆けて、「10歳のわたし」をテーマに
アンケートを取りましたが、その時に、子供たちは
「いろいろなことができるようになった」と感じて
いました。学習、運動、習い事、趣味等々。どの子
も、成長と共に自分の世界を広げています。

会では、一人一人が得意なことやできるようにな
ったことを選んで披露します。分野毎に15のチー
ムに分かれ、見せ方なども自分たちで話し合っ
て進めています。

幼さを残しつつ、一步一步高学年に近付いている
4年生。当日は、一人一人の持ち味を発揮し、元
気な発表で、自分たちの成長とここまで育ててもら
ったことへの感謝の気持ちを、見にいらした方々に
伝えます。

1組担任 桑原 透江

2組担任 鹿島 靖子

もちつき大会

～葉かげのつどい～

2月2日(土) 11時半より、本校体育館で行われます(受付は11時から)。これは、向山小青少年委員が主催し、向山町会、向山睦会、向山小PTA、青少年育成第三地区委員会、アパッチ指導者、ソフト有志が共催して行われる行事です。毎年、事前に協力者が集まり、手順などを相談し、大根やもち米を用意して、もちつき大会に備えます。寒い中、水を使った作業は大変ですが、当日、親子でお餅をつく姿や子供たちの喜ぶ顔を思い浮かべるだけで、寒さも吹き飛ばさそうです。みなさんの参加をお待ちしております。詳細は、餅つき大会のお知らせをご覧ください。 **※ 当日は餅のつき手も大募集しています。**

◇◇◇校内研究◇◇◇

今年度の研究テーマは『かかわりを大切にし心豊かに生きる児童の育成 ～「考える道徳」
「議論する道徳」を通して～』です。各学年で1回ずつ計6回の研究授業を行いました。

来年度より「学習指導要領」の一部改正に伴い、道徳は「特別の教科」という位置付けとなります。「特別の教科」といっても、担任による週1回の道徳の授業を要として、学校の教育活動全体を通して行うことは従来と変わりません。何が変わるのかというと、答えありきの道徳授業から、「考え議論する」道徳授業への転換です。今回の校内研究では、この点を中心に研究し、日々の道徳の授業に生かすように努めてきました。

道徳的実践力を伸ばすには、家庭や地域と学校が同じスタンスで、子供たちに声をかけ、見守ることが必要です。今後とも、家庭、地域、学校が協力して子供たちを見守っていただきたいと思います。

研究主任 熊井 留美

学年の窓～4年生～

向山（総合）で「パラリンピック調査隊」という学習をしています。1月16日にパラ射撃日本代表の佐々木大輔選手の話の聞きました。この方は元練馬区の小学校教諭でしたが、交通事故に遭い車いすの生活になりました。夢であった小学校の先生ができなくなり、絵本作家、水泳（肩を壊し断念）、射撃、と夢に向かって挑戦し続けています。

学習後に書いた佐々木選手への手紙には「一度は失った夢をまた作るということは、とても大変だと思います。」「『夢に向かってあきらめずに。』という言葉が心に残りました。私もあきらめずにがんばりたいと思います。」「困っているときに男の子が声を掛けてくれたという話を聞いて、障害者の方が困っていたら少しでも役に立つように努力しようと思いました。」など、たくさん心が動いたことが書かれていました。

1組担任 金井 佑樹

2組担任 鈴木 真

3組担任 林 康子